

秘

起案紙第一號

明治卅四年十月三日起案

十月七

發行發付掛
捺印
發付後起
等者捺印

主務

軍務局長

司員

大臣

次官

參事官

人事局長

經理局長

艦政本部長

軍令部長

明治卅四年十月

佐鎮七官宛

電案 (要案暗号)

右四味手名

發送番號

要案

清國事變紙

起案紙

0203

0202

紙箋附

軍令部長
佐鎮七官宛

海軍事務紙

事務

0203 0202

外

紙箋附

軍令

長官印
長官
濟

改
案
未
三
付
未
再
出

付
蓋

香馬

年
月
日

御
中

海軍省軍務局

軍艦(多利) (後工役) 伏見(機密) 二六六
 貴官(意見) (依り) 田代(準備) (施) 貴
 麾下(適當) (ナル) (艦形) (ヲ) (シテ) (上海) (迄) (之) (ヲ)
 曳航(セ) (シ) (メ) (合地) (於) (テ) (右津) (泊) (ヲ) (據) (旧) (整)
 長(セ) (シ) (ム) (ル) (コ) (ト) (内) (宜) (シ) (タル) (件) (お) (當) (津) (泊) (セ) (シ)
 (メ) (ラ) (シ) (タ) (シ) (又) (存) (面) (航) (方) (案) (結) (シ) (所) (要) (豫) (案)
 (豫) (メ) (提) (出) (セ) (ラ) (シ) (タ) (シ) (有) (依) (案) (區) (區) (豫) (航)
 (案) (貴) (官) (協) (議) (應) (シ) (貸) (與) (ス) (キ) (否) (存)
 日(本) (海) (軍) (部) (司) (長) (官) (電) (訓) (セ) (シ) (タ) (リ)

電案 (括弧内暗号)

明治四十四年十一月七日 日 大佐

海軍大臣官宛 奉答

海軍

軍艦多羽ヲ上海、回航、為大其部所
係浮船渠ノ、佐世係鎮守府司令長官
ノ秘書長ニシテ、佐世係鎮守府司令長官

（花崎清）

0205

朱

0207

朱

京都府知事宛

御事
同日付御返答御意に御座り候間、御座り候に

御座り候間

同日御返答御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

同日御返答御座り候間、御座り候間

發送
寄號

京都府知事宛
御座り候間

0206

参照

旧案

0207

案

陸軍省陸軍部

同前 陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

陸軍省陸軍部 陸軍部

送
番
號

揚子江沿岸目下ノ状況ハ軍艦島ヲ急派
 必要有之候ニ付テハ令艦竣工次第才
 三艦隊ノ編入上ハ東、適當ナル回艦
 備テ施シ續々下適當ナル艦形ヲ上
 海迄之ヲ~~續々~~令地、於テ右岸備テ
 舊日整頓^{或ハ}セシムルコトニ内定ヲ成
 合上豫メ右岸備セシムラシ
 右依余申進ス
 臣テ右面視察備方案及之、要る豫案ハ
 豫備出カ成方

案

0506

0208

海軍
海軍
海軍

海
軍

0209

自給

三百五十噸淡水吃水砲艦ヲ回航スル為メ燃料力ヲ測定スル意見

別紙参照

台

海軍

一 艦隊ヲ上海迄自身航行スル力ヲ海軍卜假定シ約五十二噸
ノ石炭及五噸ノ淡水ヲ要ス餘額ヲ見込ニ石炭ヲ六十噸トスルハ
合計六十五噸トス

今石炭及淡水合計六十噸ト糧食彈藥ヲ搭載スル場合ヲ考フ
實際ニ糧食ノ必要ニ付是處搭載スル可キ量ヲ齊備品ノ残存ヲ搭載
セザルトスルハ其重量ハ結果ニ於テ大差ナク

排水量 二七六噸 六五ナリ 排水高サ長一三ナリ 一噸ニ占ム排水力

0210

ハ五吃水前部一呎七分五後部一呎六寸四分五トスル時ハ
 波ノ高サ長一三分一ノ時一吋平方ノ約六噸九之 五十分一ノ
 時ニ四噸一ノコトヲシヨシシテ受テ船体ノ強サハ蓋テ十分ノ流
 能ヲ取ルニ及ビ上海到着ノ上再々之ヲ搭載スル所ニあるニ其用
 敵艦ヲ取ル所ノ威勢減スル為メ次ノ如クス

本印

一 機園堂造一船体構造ニ重要部ヲ特ニ取外サシテ機園堂内ヨリ
 取出シ得んモノ、之ヲ一取出し且ク石炭、彈藥ヲ搭載セザルモノト
 スルハ排雷船一八四噸吃水前部一呎六寸十分一ノ後部
 二呎二寸八分七寸ナリトシテ其ノ波ノ高サ長一五十分一ノ時ニ
 八噸、五十分一ノ時ニ約四噸、七四ノコトヲシヨシシテ受テ即チ

前者之船より可なり大なるモ表に極多ク平穩な天候より安定
し得んナラバ五分の一は之を假定して可なり之は場合之に於て
12420シヨシヨシ約四噸、七四ニ對シテハ船体強力の差支ナシト

認め

故に本案より採用スルヲ可ナリト認め

0213

陸軍省
海軍省

明治四十四年十月二日

陸軍省
海軍省
陸軍大臣齋藤實殿
海軍大臣齋藤實殿

陸軍省
海軍省
陸軍大臣齋藤實殿
海軍大臣齋藤實殿

海軍大臣齋藤實殿

軍艦鳥羽回航ニ関スル件

軍艦鳥羽ヲ長江ニ回航セシメテ、夏季海上平穩ノ
時機ヲ待ツテ、單独航行セシムル當初ノ計畫ニ有之候
外、同艦本月二十日ヲ以テ、竣工ニ了ト、相度候ニ就テ、独航
ニ適スル季節ハ、已ニ相違キ先モ別紙圖面ノ通り、竹敷要
港部附属浮船渠内ニ上架セヨリ、十分ノ動搖止ヲ施
シ、同浮船渠ニ前後ニ水切り及ヒ後部ニ舵ヲ堅固、假
設ニ軍艦(笠置以上)ヲ行ク之ヲ曳行セシムコト、セバ、季節

艦政本部

軍務局

天候如何、拘_レテ同船ヲ故障_スル目的地ニ回航セ_レル事
ヲ得_ル時局上好都合ト思考致候

右意見提出ス

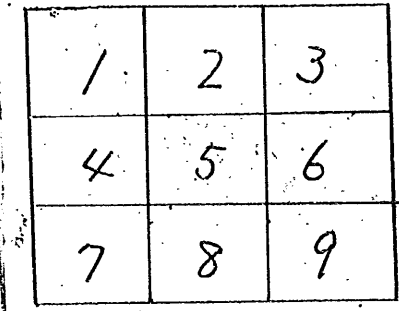
迄_テ回航準備ニ同浮船渠當港到着後十日間ヲ完
成セ_ル豫定ニ看_テ又右回航準備工事ニ要_スル入費
ハ総_テ同船製造費豫算内ニテ支辨_シ得_ル候事
申_上候

(別紙圖面量業添付)

(終)

0215

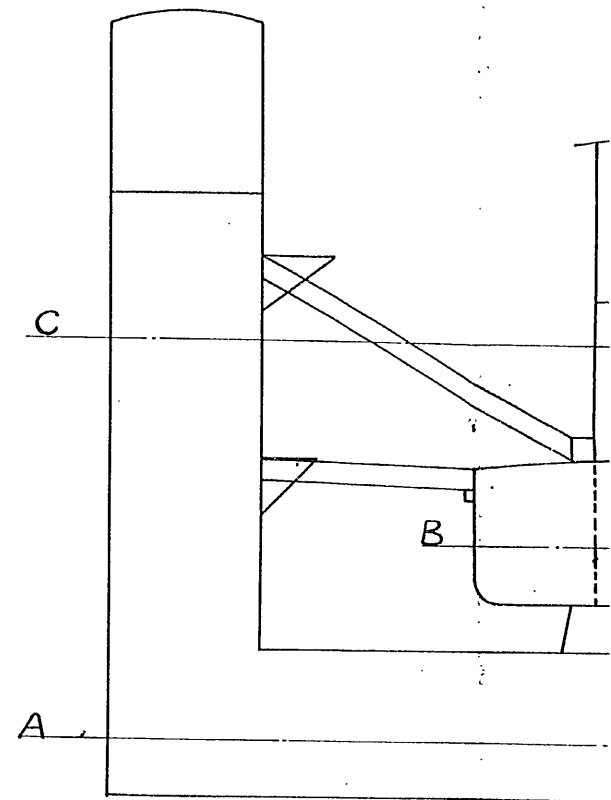
分割撮影ターゲット

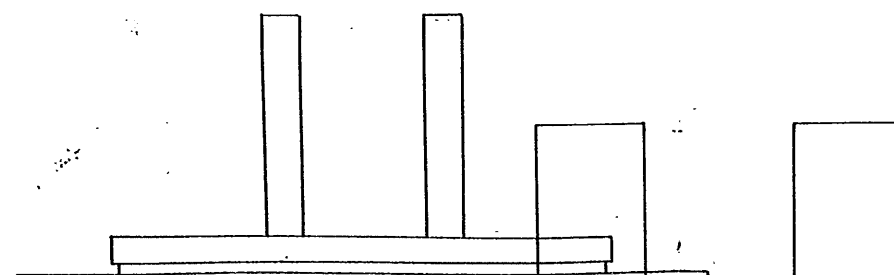
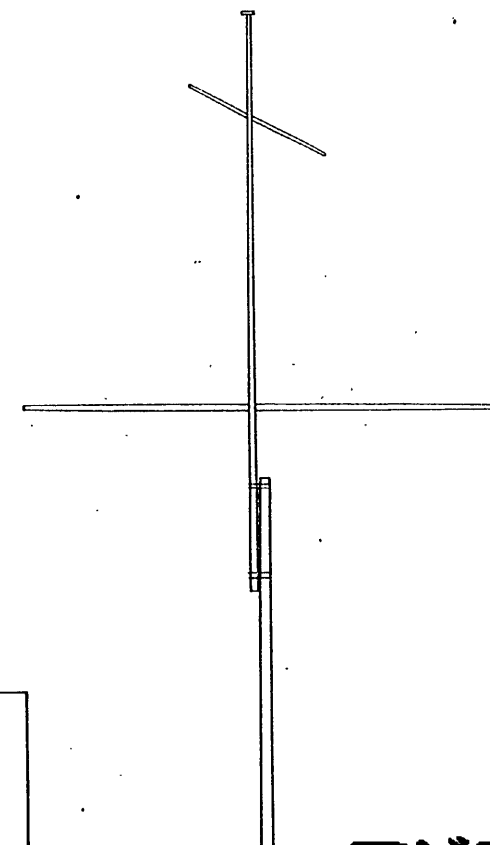
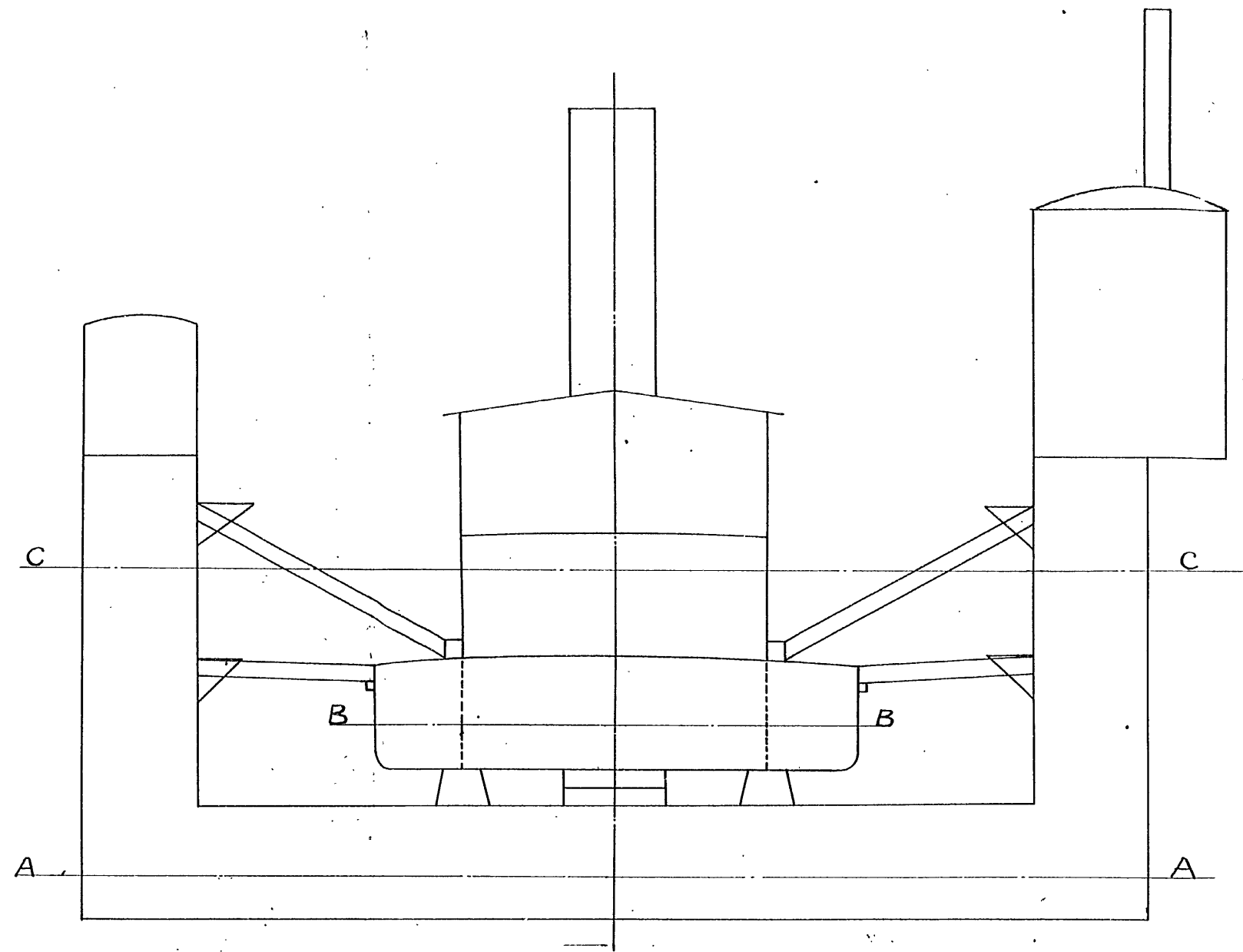
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0216
0217
0218

0219
0220
0221

0222
0223
0224

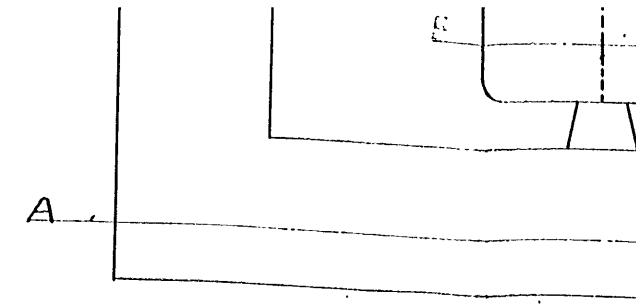
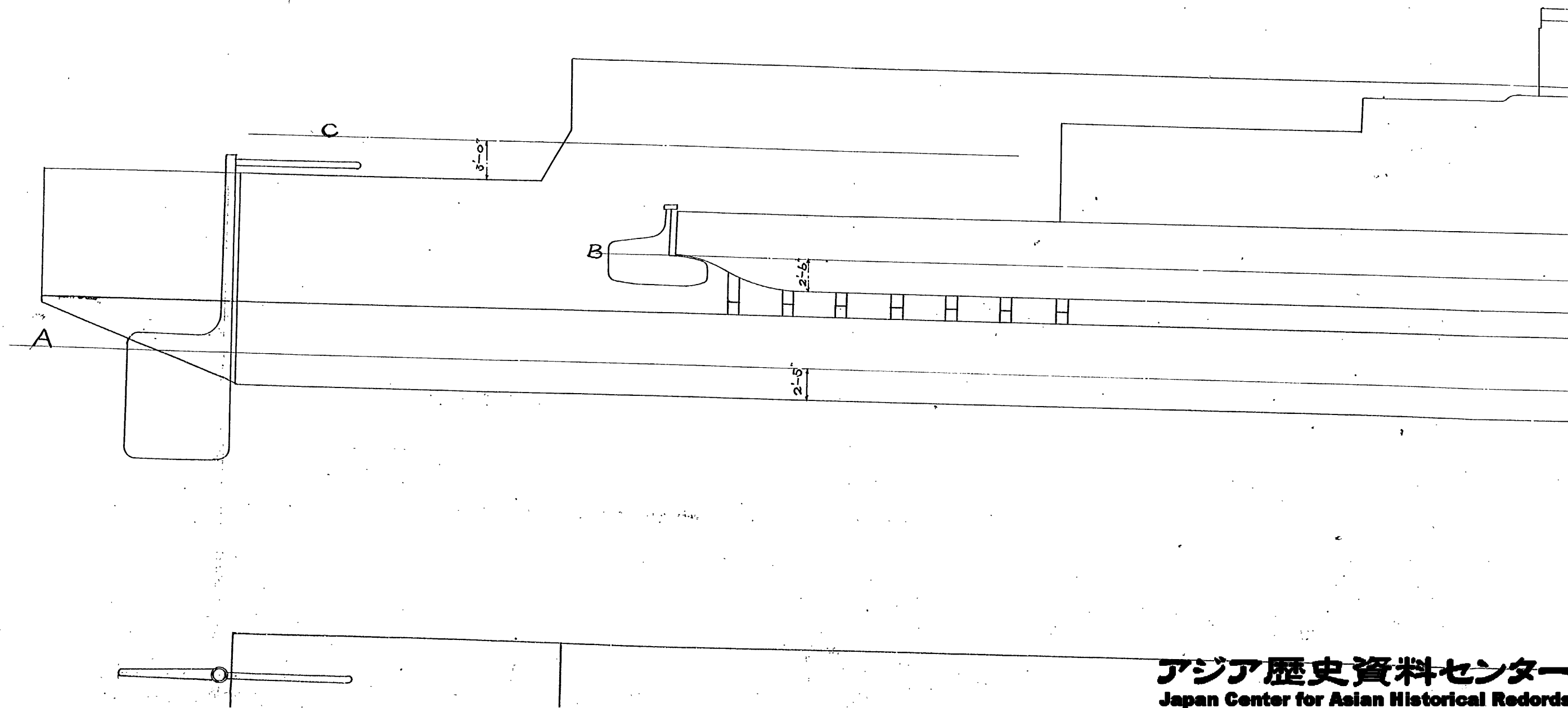


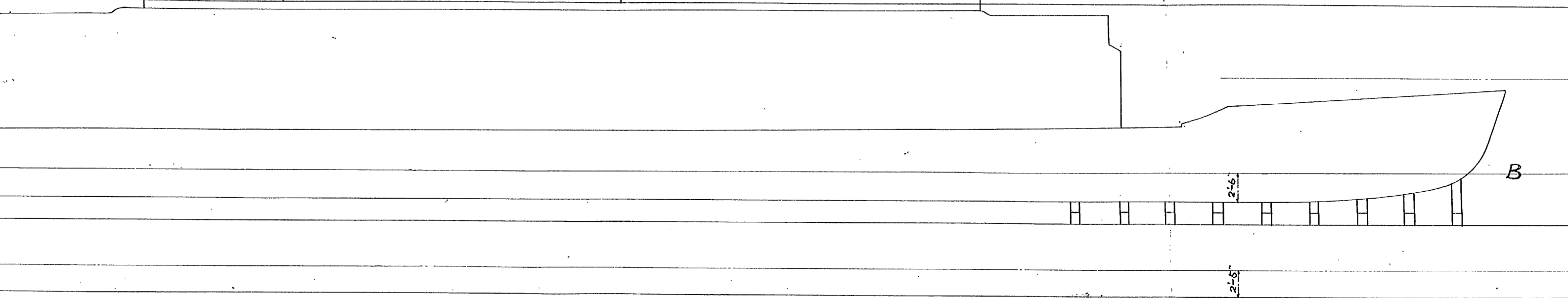
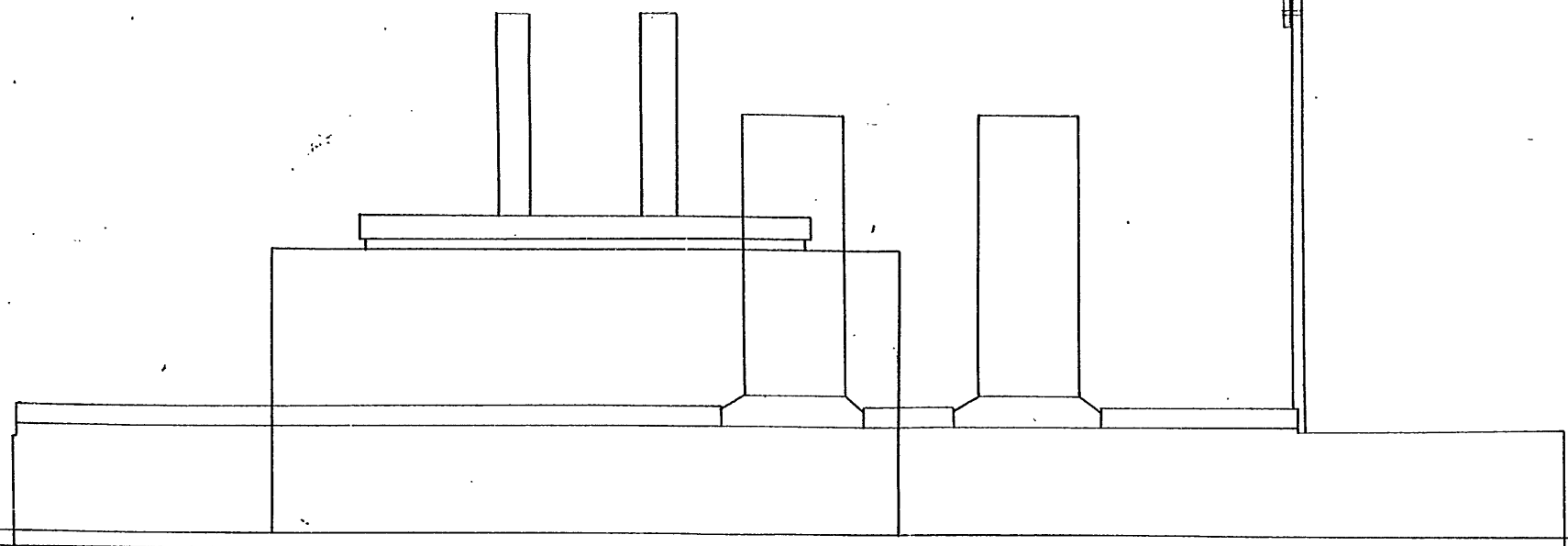
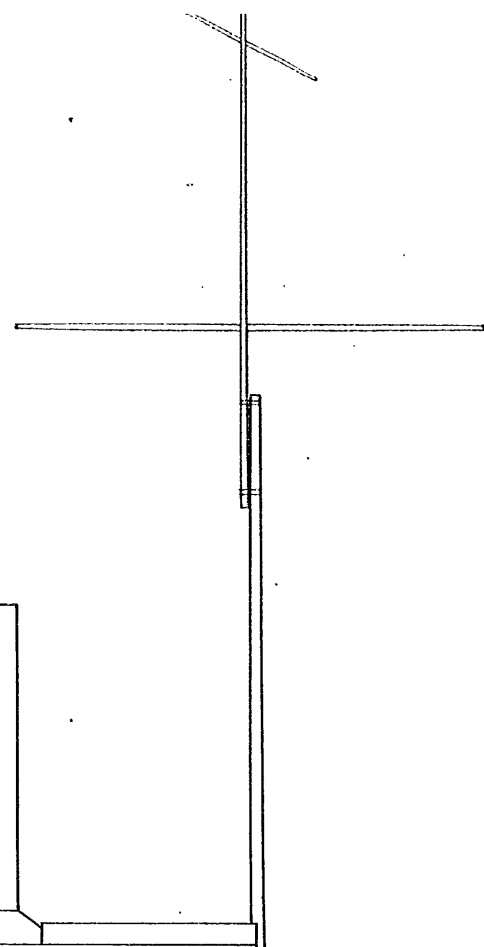
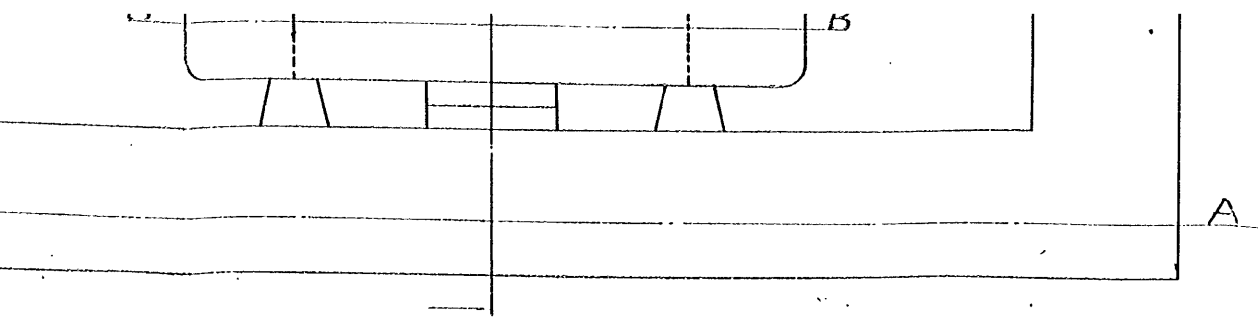


軍艦鳥羽修敷要港部所

赤線は做設ヲ示ス

A A 浮船渠田航状態ニ於テ吃水線
B B 鳥羽吃水線
C C 浮船渠ヨリ鳥羽ニ出渠セシムル時吃





Handwritten text in Japanese, likely a signature or date, located below the main drawing.

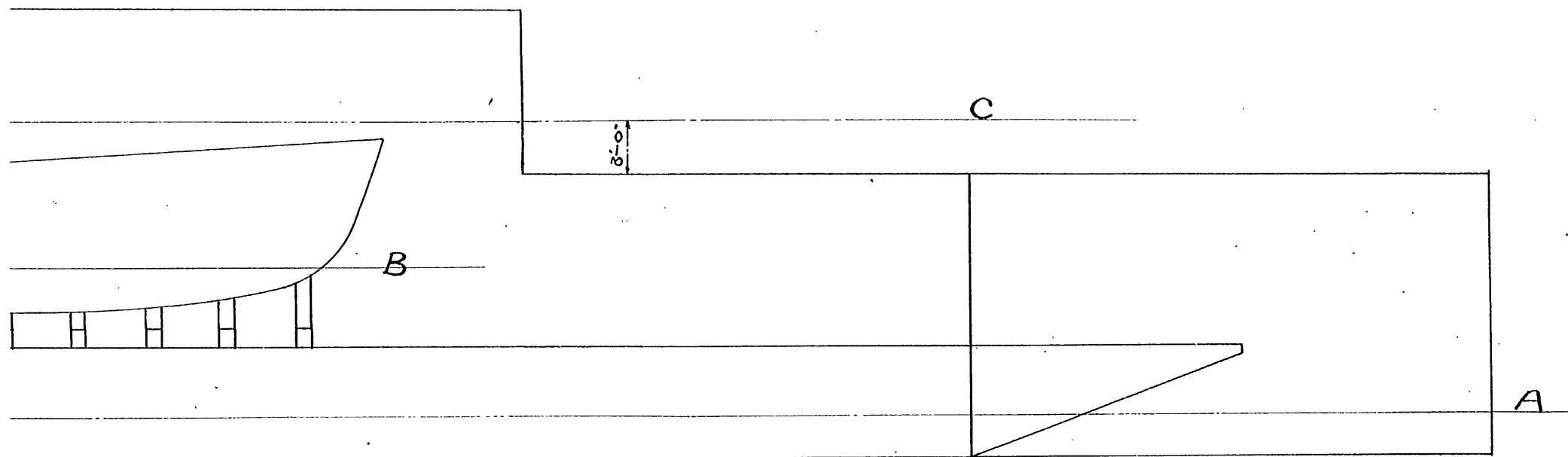
敷要港部所屬埠船渠搭載面

ハ設テ示ス

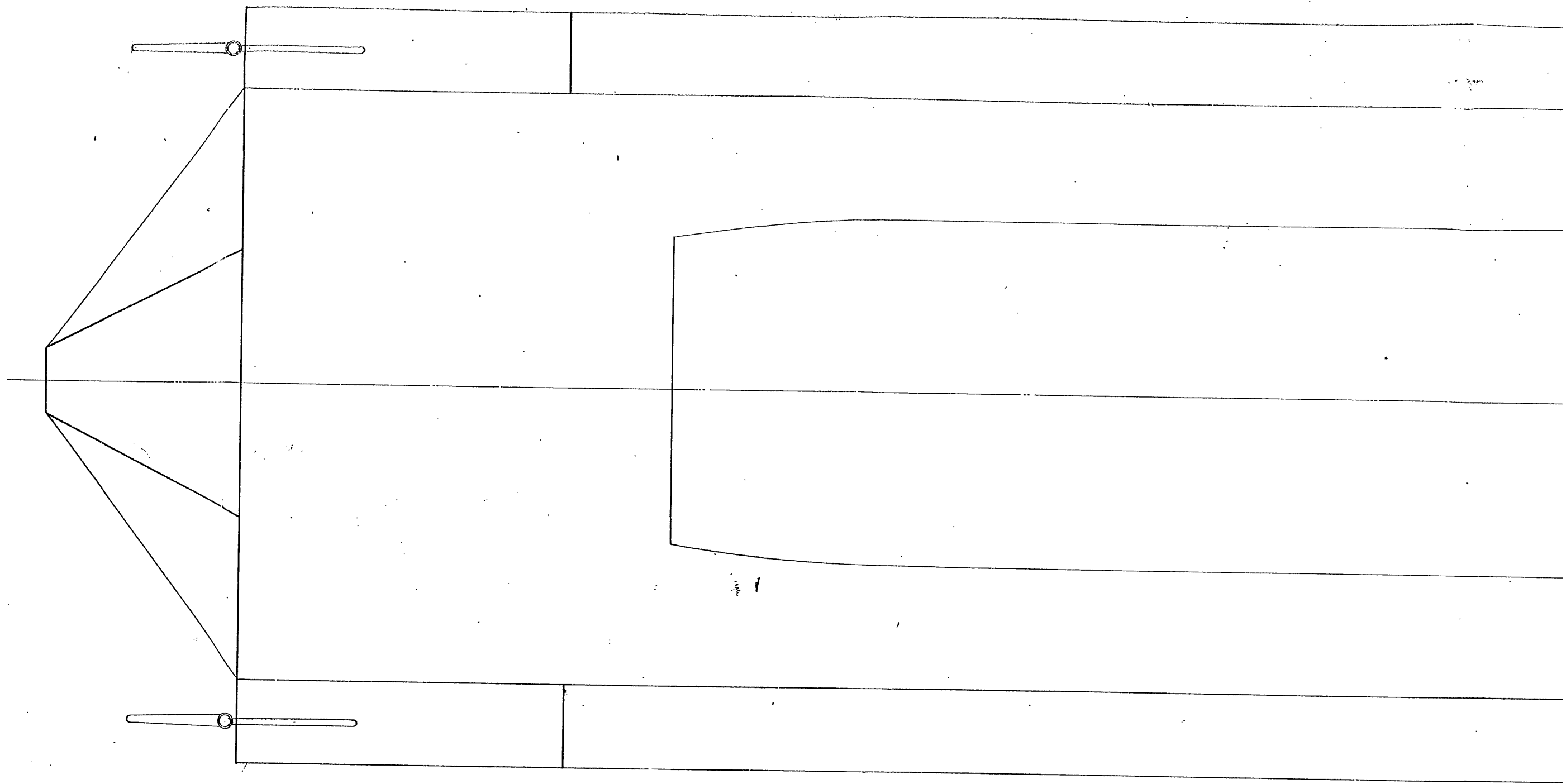
航状態ニ於テ吃水線

ハ線

鳥羽ニ出渠セシト時吃水線



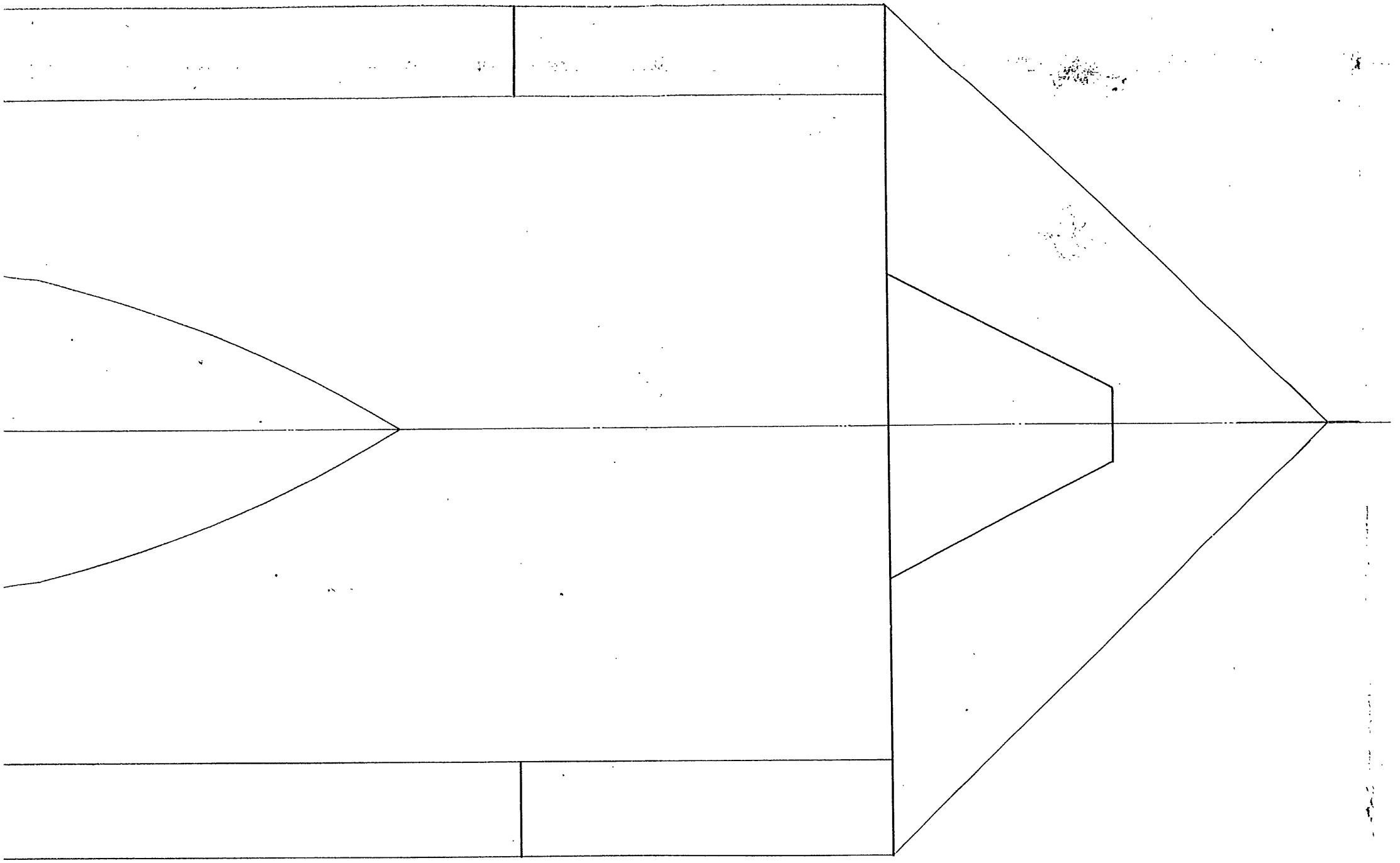
鳥羽五区



Handwritten notes in the top right corner, possibly including a date and some illegible characters.

2014年 2月

簡



縮尺九拾六分之二

四
十
年
有
分
清
頭
中
書
二
十
六
冊
圖

0224-2



軍務局長

案

明治四十二年八月八日

軍務局長

才三艦隊司令官宛

軍艦司の回航關元件

閣下依世保、艦隊建造中、軍艦司の十月七日

津水令三千日渡、予務室之有之、就十八日面航方、

閣下別紙の通函、海軍司宛、予依世保鎮守府司令

長官、~~中略~~候、乘成乗令、運托成等

右通函、不電報

別紙三 (象標)

佐鏡城番初三六六号、小澤村、公入天守、其要者、附通函、ト

海

軍

0225

取上
回案

乙

正統案 (巻紙)

護送

海軍

お啓々面軍艦の回政準備方々閣下
出府下旨七あり申進ハるは政務局
トレテ人強力ナル軍艦ヨリ軍口申航極難ノ装
畢完備ノ旨ツテ力モ亦恰好ナル様極丸、如
キモノガ却ツテ適宜ノアヲヤトノ從有之一考ノ
價値アルモノ存候ト付本局等方、返、右申上る

明治四年十月

出務系御書

軍務局長

(花山稿)

0226

明治四十四年十月三日

柳内軍務局長殿

堀田海軍少佐

時局之開展上島初工事至其完事之對し是を見用
陳の結集本月十五日より工事の取急を以て相率申候進
期自來月七日分討違報分試希射開放梅香等、結了期
日ハ来月二十日有之候山至率率員ハ進み右の事速に配
書し、採果中致し、實候ハ、彈藥糧食其他新艦之要
を常島本部に採果難理、是を以て時局ノ天候之他、事故

0227

十一年限り約一箇月自身積り三月一日就役差支
 存候中清務振興の御方味方身相増し事候折柄長江流
 域に於て河用砲艦任務處に重宝あり事候現況
 一白を謀り回艦致し交々望望に在り就き右回艦方法に
 乙是并工廠長ホノ極意見ハ天候良好なるに於て先方自
 回艦せしむるとし事論少なきに非認致さるる候
 其漏れ漏れ所より鎮守府及工廠に於て協議あり候
 船造計画等特回艦時期に多量に大風吹来後屢々継
 續不し平穩なる候天候多し撰み自方回艦すべし
 自身回艦トして自般を安全にす又ゆ事期し
 候も当然長江流域に於て特種任務に服す事
 艦に於て

且向等ノ事變ニ漚瀾百サレモ往々本邦ニ於テ存テ待テ集ル
ノ得ルモノニ至ラザル候ハ候少クハ冬番降ルモ天候多
過キテ自身身ノ事航ノ如何ノ間モ同航ヲ任務ニ從軍
致シテ希望ニ因テ在候處今同ノ勤外存リ自モ速ニ同航
ノ必要ヲ相認ノ候ハ就テ本艦從務ニ差支ナキ期日ヨリ
勤外鎮靜ヲ身サレテ控テヨリ多少ノ事理危障ヲ自ヨリモ是非
トモ同航ノ事無ク存テ持テ友誼ヲ重シク在ク唯十二月一日候
ハ漸ク東出ル始末期々有テ海上平靜ニ日射カレハ自
同航ノ天候ヲ勵慮スルヨリ往々廿四舟楫ヲ失ルル事ナ
ト云フカラス候ハ事無クハ艦体ハ至難キ事有テハキモ尤モ方
法ヲ講シ弗航シテ直航スルヨリ機宜ヲ得ルモノト被

0229

存候

一 福体牛車部に於て福店に廻らせ長サ四寸半角材敷
十本ノ総重し密着懸維し福体落しし目マ少
後後方ノ増加せん世々重ク施すト

二 需品その他ノ摺り載し保身航るルトせん動揺ヨリスル危
降^防り^止め^ルニ^シテ^ノ維^持支^柱ヲ^キ固^定ス^ルニ^シテ^ノ

三 懸^持物^ノ滴^漏及^び物^ノ欠^けニ^對シ^テ懸^維ノ^強ク^スト

四 上甲板各室各層庫^等滴^漏檢^査定^期ニ^行ハ^ルニ^シテ^ノ
完全ニ^防め^ルト

右外福内動揺流矢ホ、張^られ^ル諸^物各^ノ之^ヲ束^縛取^上り
必^ず妥^当ニ^保持^スル^ニシ^テ本^船ノ^アリ^トシ^ルホ、措^置キ^テ保^持ス^ル天^候

0230

廿二日不月長十カレ張リハ回航出来ウベシト信シ居申シ候今右
ノ形跡ノミモ係ワリハ存候共臨ノルハ詮テオオ相事ヲ得
テ其旨ヲ之ニ過テ申候是見南條方此段申進候

(終)

0231

紙 信 着 報 電 0232

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付受	付受	第	報
	午後	午後	午後	工	局
	前	前	前	月	報
	土	十	十	五	報
	時	時	時	日	報
	分	分	分	號	報
		字			
<p>カヒ、テシコウノタテ</p> <p>ササウ</p> <p>此等置天候ノ出流</p> <p>フシ</p> <p>有</p> <p>氏名</p>					
<p>定 指</p>					
番着		數紙		名氏所居人信受	
號信		紙		名氏所居人信受	
		第一		サ	
		三		ハ	
		號			
<p>事 記</p>					
<p>印附日信着</p>					
<p>小牧</p>					



電 報 着 信 紙

局	着	局	發	名氏所居人信受		
取 扱 者	受 信	付 午 後 前	付 午 後 前	第 一 頁	報 局	<p style="font-size: large;">テ シ ム キ ヨ ク</p>
申	申	申	申	申	申	
申	申	申	申	申	申	<p style="font-size: large;">申</p>
申	申	申	申	申	申	
<p style="font-size: large;">筆置天候候復待</p>				申	申	<p style="font-size: large;">申</p>
<p style="font-size: large;">申</p>				申	申	
<p style="font-size: large;">申</p>				申	申	<p style="font-size: large;">申</p>
<p style="font-size: large;">申</p>				申	申	
<p style="font-size: large;">申</p>				申	申	<p style="font-size: large;">申</p>
<p style="font-size: large;">申</p>				申	申	

0233

軍令部

軍務局

陸軍

濟

受信者

海軍大臣

電報譯

香月浮城渠ヲ曳キ吳淞ニ包メ
甚係甚

(3)

土

五月

日午

九時

五

分

信

甚係

局

發

局

着

局

發

局



發信者

陸軍

軍務局

陸軍

通信

海軍

0234

電報着信紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午前	第	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">カヒ</div>	
		後	前	三	局		
13		11	19	月	日		
		時	時	號	報		
		分	分				
<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;"> ケ の 7 子 キ ハ ズ ハ ス シ ニ ム </div>						定 指	
						事 記	
		番着	紙	名氏所居人信受			
		號信	數	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">カヒ</div>			
			第				
			二				
			十				
			三				
			號				
		印附日信着					

0235

軍令部

紙

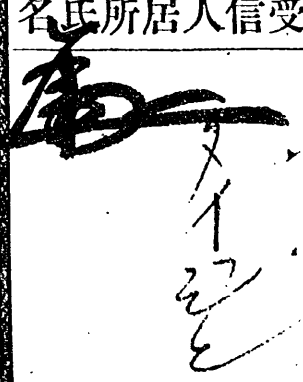





信

軍務

電報

電報

電報

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午前	第九	廿七	 名氏所居人信受
シ	シ	シ	シ	日	報	
十月三十日 佐世保鎮守府司令長官		笠置鳥羽浮船渠ヲ曳キ 前九時出港			定指 事記	番信 〇 紙 第三十一號 名氏所居人信受 廿口
		  			印附日信着 11月20日 	

0236

修訂せしむる訓令、奉り付午供覧

陸軍省

覽

電

軍務局

艦政本部

軍令部

明治四十四年十月廿二日

佐世保鎮守府司令長官男爵出羽重遠

海軍大臣男爵齋藤實毅

司員 軍艦鳥羽回航件

別紙ニ通し、笠置艦長工廠長港務部長及鳥羽

艦長一訓令ニ添

添報生

別紙ニ葉添

第一班

會計課
海防
海軍
海軍省
海軍省
海軍省
海軍省

3

0237

海軍省 第三六三號

海軍

明治四十四年十月廿二日

佐世保鎮守府司令長官男爵出羽重遠

竹笠置艦長近藤常松殿

其艦ハ準備整ヒ次第鳥羽ヲ搭載セル浮船渠ヲ上海方面ニ
曳航シ鳥羽ヲ出渠セシメタル上右浮船渠ヲ秋津川ニ引渡
スヘシ

逕テ本任務ニ対スル行動豫定ヲ速ニ報告スヘシ尚ホ工廠長港務
部長及鳥羽艦長ハ別紙通リ訓令ヲ示シ此旨心得ヘシ

右訓令ス

海軍省
第三六號

明治四十四年十月廿三日

佐世保鎮守府司令長官 佐野 重遠

工 廠 長

港務部長 宛

鳥羽艦長

軍艦鳥羽上海方面へ回航ノ事關シ別紙通リ設置艦長
訓令ハ係此旨相心得曳航準備及実施上ニ關シ設置艦
長ニ恨カス可シ

右訓令

別紙一葉添

(3)

海 軍

0239

起案紙第一號

明治 年 月 日 起案
抄案者 印

十月四日 發行
發行印 抄案者印

大臣 陸
次官 參事官
副官

軍務局

艦政本部

第三部

會計課

福田

電案 大隈 經 電 局 印 用

海軍大臣
吉田 隆 長
左 通 好 三 郎 長
伊 日

發送 番號

及 鳥 羽 航 長

海 軍

政 艦 44.12.5 受 接

房 接 四 日

12-4

0240

官房第四二七

鳥羽回航ノコト無事終了ノ告
ノ報ニ接シ満足ノ意ヲ有リ
係任員ノ方々多クモ尤モ甚ク
ヲ致ス

本支店
大正
五月十四日午後十時

大正
官

左ノ通り至幸社長ノ電報セシタリ
塔台直報

0241

電

軍務局



十二月五日

午前九時十分 上海

局 著

44-11-1

軍務局接

受信者

海軍大臣

発信者

加藤中佐

電報譯

四日幕三艦隊司令官ヨリ

鳥羽回航ノ成功ヲ祝シ此ノ時標ニ於テ

長江上流ニ我威信物カ力ヲ増加ヲ見ルハ

本職ノ特ニ慶加員ニ堪ハサル所ナリ

局 著



海軍

0242

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

0243

Station	Office No. 6	Address Hagoromo	
Received Time 040 pms	Date 5/12 19	Tokyo	
By			
Class S	Original Office Shanghai	Remarks	
No. 12	Words 121-14		
Date 5/12 19	Time 9:10 AM		
<p>Tobakai Kono Sei Kowasi Kubi Konoji Konoite Chokojoriani Wagaishin Seiryakuno Zokao miruwa honchokuno to Kuni Kigane Taesarutokoro harizon hitaga Zore Kato</p>			

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

No. 28

0244

Station 1060P Office No. 7

Received Time 8:30 Date 4/10/19

供覽

Address Chagosimo
Tokyo

Original Office Shanghai Remarks

Class mc No. 161 Words 13/8

Date 4/10/19 Time 4:15 pm

*Sihingog osangin ukhidockkurohiki
tokedakimimikae
hatsunamakhi chakunogateri
uchimo*

軍務司

郵

軍令部

四〇五号
陸軍省
海軍省
陸軍省
海軍省
陸軍省
海軍省

陸軍省
海軍省

供覽

回
線

軍

電報着信

着		局		發		名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	付 後	受 前	付 後	受 前	第	報
	午 後		午 前		午 前	二 月 九 日	二 十 七 號
	三 時 分		一 時 分		一 時 分		
<p>着 送 道 無 事 信 務 送 了 午 前 八 時 分 着 了</p> <p>送 道 無 事 信 務 送 了 午 前 八 時 分 着 了</p> <p>送 道 無 事 信 務 送 了 午 前 八 時 分 着 了</p>						定 指	
						事 記	
番 號		紙 數		名氏所居人信受			
二 〇		第 四 十 九 號		サ 口			
印附日信着							

0246

供覧

電報

紙

軍着

局		着		部		局		局		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	受午前	付午後	受午前	時分	日	第二二	局	報	友
<p>定指</p> <p>ゴクウキド ヌケシキ4</p> <p>ウコウブニヒキウコ</p> <p>シゴウニサセホ</p> <p>ムケルワ</p> <p>午後六時竹取着浮船渠ヲ</p> <p>要港部ニハ渡シ候ハ付候</p> <p>係官ニテ</p> <p>林政</p>											
番信		紙		名氏所居人信受		事記		行動		指	
番号	三	第二十一	號	カモ	17	三	28-13	行動	指	指	指
印附日信着											

0247

昭和二十九年
五月
三日



電 報 着 信 紙

軍務局

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取扱者 受信 付午後 前 11 時 5 分	受信 付午前 後 11 時 5 分	第 八	報 局	報 局	報 局	<p>電報 友 長友</p>
受信	付午後	日 號	報 局	報 局	報 局	
<p>受信 11 時 5 分 付午後 11 時 5 分</p>		<p>五月九日</p>			<p>報 局</p>	<p>受信人 長友</p>
<p>受信 11 時 5 分</p>		<p>五月九日</p>			<p>報 局</p>	<p>受信人 長友</p>

電報 友
長友

五月九日

電報 友
長友

五月九日

電報 友
長友

五月九日

電報 友
長友

五月九日

0248



供出



馬

海軍省
海軍少将殿

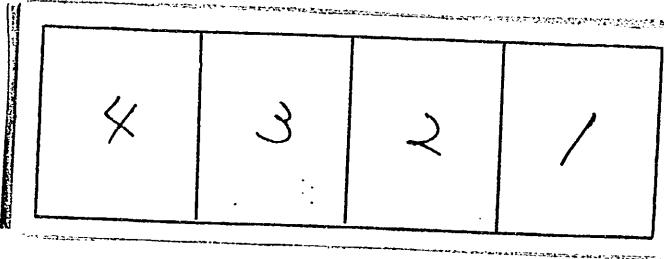
親展

0249

ソ
高
居
因
本
史

0250

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

意は雨降原のほろりと
春空の無礙をよめぬ
各位の快搭道すまはれ
力もまきまきし回航只今
書物もあま著仕と航海
三日月初の日は天高く極
晴朗海上亦是ぬる
穏と相立たりし二日間は
良雨降るを天候極
変調を呈する事ありし
未ださうたる風浪もたつた
しが三日目少なりし
風の強弱を度し波は漸
高し風は偏西するに
風上側より二回程帆集
越して水速の飛散を受け
申候様の状態を物事

高き風白偏北すまは候

風上側より二回程北集を

越て水陸の飛散を受け

申候様の状態を御座候

建強院申候御座候

御座候事

此等之を北集成鉄の脱後

北集備付後在の御座候

事候す不申の事候

れ申候事候

候す事候

多同御座候事候

及候事候

候の申候事候

及び抽出候事候

候事候

候の偏北鉄の自然変候

候事候

多角形体である少の多理を
及ほまた多結果も差あり
視の申す美点は各家を産
及び抽出機等の周閉不見合
をより申す位あり或は上甲
板の漏水鉄の自然変形

0252

尚ヨリヤフ止及ヨリヤフトビアーリング
等異状を呈し指し下を
検査は及なく委面し詳由
調査の及候先は省自
は暫きを電報は孔中と交
如例は生とを致しと象
員二日點る健全好解
任務を彼しゆるをなす
只後少在距離及長と
終りと臨み周下のは健康
を部り申候 敬具

0253

長父の信印

等由異状を呈し、指下を以て

検査に及ばず、委細に詳ぬ

調査に及候先、首自儘の

は、暫きを為すは、孔中、且、

如、形、を、法、生、と、致、す、と、察

員、二、日、照、る、健、在、好、聲、

任、務、を、復、し、得、る、を、予、以、て、

只、後、少、佳、躍、隊、長、と、申、す、

終、り、と、臨、り、閣、下、の、は、健、康、

を、祈、り、申、候、敬、具、

有、代、り、傳、言、

上海
十月四日 堀田英夫

堀内場中少将閣下

0254

0253

明治三十四年十月十六日

明治三十四年十月十六日



枋内海軍少将殿

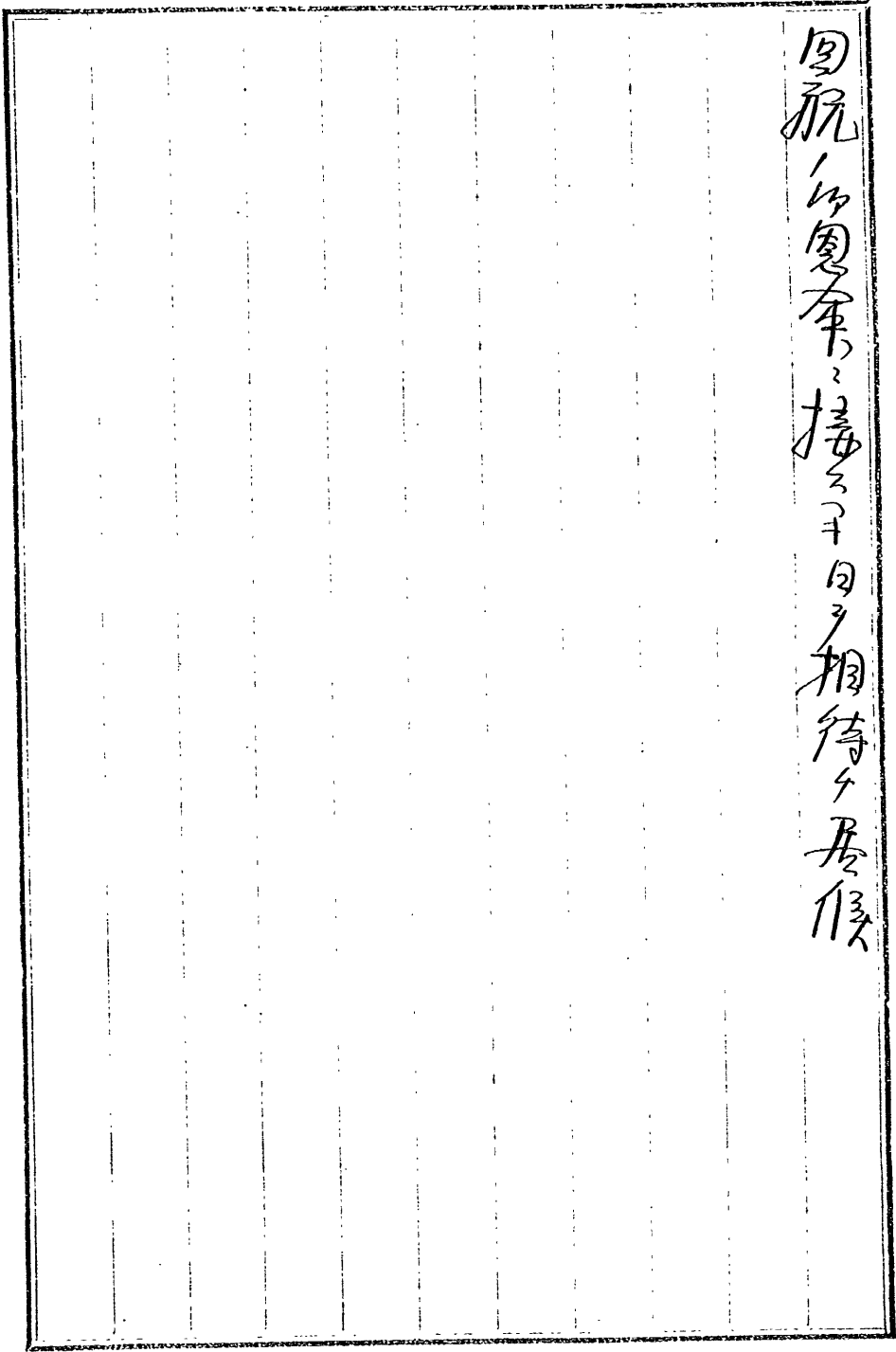
堀岡海軍少将

一昨午四時自羽多試運船結了結果良好有之大不安
増致し候此方よりハ機材を削し兵員よりハ操縦致し
候ハハ或ハ十七節位より出せ得ハキト楽シク居候思ハ
浦敷梅着中々有之コトモ十時三十分ハ結了可致ト存居候
兵員ハ漸ク昨日全部配乗本日も需高糧食強弱並ホ
等ノ搭載ニ着目申之候宜ハ國航日割豫定ハ快定ノ

軍務局接受
明治三十四年

0255

隆何事ノ多クシ^レモ^レ之^レカ^レシ^レ以^テ大^ニマ^ツキ^テ業^者自^ら業^者艦
 之^レ得^ル程^度ヲ^レ漸^ク日^々滞^リ付^ク候^様ノ始^末殊^ニ二十
 一^日マ^ツキ^テ自^ら非^トモ^レ全^部ノ積^込ト^シ結^了セ^ル可^カル^仕義
 立^至リ^唯々^懸念^{年々}働^キ居^候モ^レ新^疆最^初ノ積^込ニ^有
 之^レ存^シノ如^キ僅^少ナル身^分ニ^テノ働^作若^シ今日^ノ如^キ而^天
 勝^力ノ天^氣ニ^三日^モ積^込候^ハ或^ハ回^航期^日豫^定ノ支^障
 モ^候ハ^シカ^ト心^苦シ^ク存^在候^斯事^申上^リテ^ハ申^上ル^ハハ^ハシ^テ
 候^ハ共^ニ工^務於^テ自^ら回^航予^定自^割切^ハ信^定ノ即^一度^庶
 仰^話シ^アリ^レテ^ハ今^更思^は後^レ申^候九^日自^ら非^トモ
 豫^定期^日自^ら結^了致^スル^意願^致サ^レ申^上リ
 覚^悟有^之候^今唯^一日^モ滞^リ後^務々^表相^成リ



國航
ノ
國
有
ノ
接
手
日
ヲ
相
待
テ
居
候

海
軍

0257